

## Q&A PGD-S, PD11, PD10

Q 通常のレポーターアッセイ試薬との違いは？

A 先に目的のレポーターアッセイをホタルルシフェラーゼで行い、次いで補正用にシーパンジールシフェラーゼを測定します。この両測定を連続して同一チューブで行えます。通常は補正データは別チューブでの操作測定になります。シーパンジールシフェラーゼも発現する細胞を用意する必要があります。

Q ホタルルシフェラーゼを補正用に、シーパンジールシフェラーゼを目的測定に（通常の逆）使えますか？

A お勧めしていません。ホタルルシフェラーゼは実績が高く（多種のプロモーターとの相性、化合物の影響、発光条件の確立）安心して使用できますが、シーパンジールシフェラーゼはSV40など一部のプロモーターでハネ値（異常な高値）が懸念されます。目的測定にはホタルルシフェラーゼの設定を推奨しています。

Q 本製品以外に準備する機器や消耗品は？

A ルミノメーター、ボルテックスミキサー、測定用チューブ（測定用プレート）、マイクロピペッターなど。

Q PGD-S、PD11、PD10の違いは？

A 包装単位の違いです。PGD-Sは100回用、PD11は100回用が10セットで多人数でシェア向き、PD10は大入れボトルでコストメリットがあります。

Q 培養ウェルプレートでそのまま発光測定できますか？

A シングルチューブ（キュベット）での発光測定を推奨します。細胞ライセートを1.5mlチューブに移した後、発光試薬を総量200 $\mu$ 添加する操作になります。